

2013 年度民美入所式 特別講座「先輩を語る」

おやまだじろう

小山田二郎の世界 —油彩と水彩の間で—

講師：小堀令子氏（画家、立軌会同人）

日時：2013年4月7日（日）14時～16時 【終了後懇親会実施】

会場：平和と労働センター 2階 ホール 【一般参加可・入場無料】

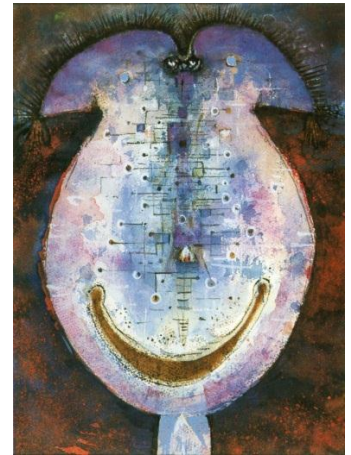
「宿命的に生を燃焼し、ひっそりと逝った画家 小山田二郎の遺したもの」は？ 搾取によって肥満する人間を諷刺した「食卓」、宗教的テーマの「ピエタ」、生涯描き続けた自身の象徴的化身「鳥女」—いずれも表層的な社会風刺にとどまらない—（1994年 芸術新潮より） 切りつめた造形と美しい色彩、水彩画の可能性を広めた小山田二郎の水彩は特に注目されている。日本アンデパンダン展には第1回展（1947）から第15回展（1962）まで出品し、元自由美術家協会会員・元日本美術会会員でもあった先輩画家から私たちは何を受け継ぐのか。小山田二郎氏の後半生を支えた小堀令子氏から、人と作品を直接伺う又とない機会です。是非ご聴講ください。



舞踏 油彩 1954



ピエタ 油彩 1955



とん（豚）水彩 1965



こども 水彩 1953頃



老詩人 水彩 1956



舞踏 油彩 1991（絶筆）

【小山田二郎 略歴】

- 1914 中国遼寧省丹東市（現）生れ。1歳から東京・根岸で育つ。
- 1934 帝国美術学校（現武蔵野美術大学）入学。中退。
- 1937～1944 独立美術協会展、美術文化協会展に出品。1945 自宅焼失。
- 1947～ 自由美術家協会会員、自由美術家協会展に出品。
- 1947～ 日本美術会会員、第1回日本アンデパンダン展出品（～15回展）。
- 1991 7月26日 病気のため永眠。

美術研究所

Mimbi 日本美術会附属研究所・民美 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館9F

TEL.03-5842-5665 FAX.03-5842-5666 <http://www.nichibi.info/mimbi/>

